

教科名	数学	学年	第3学年	教科担当者： 高岡 水菜
-----	----	----	------	--------------

《学習目標》

学習目標 1年生で、『負の世界』に飛び込みましたが、3年生では、目に見えるがこれまでの数の世界では表すことのできない『無理数』という世界を学習します。数の世界を広げ、1、2年生で学習したことがらをさらに発展させていきます。学習を進めていく中で、数学のすばらしさ、楽しさに気付けることを目標にしましょう。新しい単元に入る時には、関連する内容(例：2次方程式であれば1次方程式、2次関数であれば1次関数)を復習してから授業に臨むようにしましょう。

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント
4	式の展開と因数分解	式の展開と因数分解 式の計算の利用	文字式を用いることに慣れよう。
5			
6	平方根	平方根 根号をふくむ式の計算 平方根の利用	平方根のルールを覚えよう。
7	二次方程式	二次方程式 二次方程式の利用	二次方程式の解がについて理解しよう。
8			
9	関数 $y = ax^2$	関数とグラフ 関数 $y = ax^2$ の値の変化 いろいろな事象と関数	比例、反比例、一次関数との結びつきを考えよう。
10	図形と相似	図形と相似 平行線と線分の比 相似な図形の計量 相似の利用	相似条件を用いて図形の性質を論理的に確かめよう。
11	円の性質	円周角と中心角 円の性質の利用	円の性質を確かめよう。
12	三平方の定理	三平方の定理 三平方の定理の利用	三平方の定理を理解し、用いることができるようにしよう。
1	標本調査とデータの活用	標本調査	目的によって利用する調査を選ぶようになろう。
2	3年間のまとめ	過去問の実施、演習問題等	今までの復習をしよう。
3			

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	定期テストや小テストの数学的な知識・技能に関する問題の正答状況（評価テスト） 課題学習に対して、課題解決できたかどうか（提出物等） 質問に対して発表するときのまとめ方、説明の仕方かどうか（発表の内容、提出物等）
観点2	定期テストや小テストの数学的な見方や考え方に関する問題の正答状況（評価テスト） 課題学習に対する見方や課題解決にあたっての考え方はどうか（取り組み、提出物等） 質問に対して発表する時の自分自身の考え方、発想はどうか（発表の内容、提出物等）
観点3	数学の授業に積極的に取り組む態度（発表の内容、提出物等） 振り返りシート、レポート、ワーク等の取り組む態度（レポートの内容、提出物等） 定期テストや小テスト等の問題の正答状況（評価テスト）

《教科の約束事》

(1) 授業

- ① 先生の話や友達の発表をよく聞こう。特に図の説明、計算の手順など、先生の話は、書くことに気をとられず必ず**黒板やタブレット等を見ながら聞こう**。
- ② ノート、プリントに書くときは、「**板書されたこと**」、「**先生が話したことのメモ**」、「**自分の考え、感想、ポイント**」の3つを意識して書こう。
- ③ 間違った所は、消しゴムで消さずに線で消し、あとで**自分がどんな間違いをしたかわかる**ように残しておこう。
- ④ 余白を多めにとろう。書き込みがしやすくなります。（ノートの工夫）
- ⑤ 理解できないこと、解けない問題は、**その場で質問して(先生・友達)解決**しよう。
- ⑥ 自分でも説明や考えを伝えよう！**SNS 全盛期ですが、話して伝えることを意識しよう！**
- ⑦ 忘れ物をしないようにしよう。（宿題・道具）

(2) 家庭学習

- ① 授業のあった日は、**必ず復習**しよう。（家に帰って即行勉強！）→**帰宅即行勉強！**
- ② 同じ内容の問題（類題）を、教科書、ワーク、問題集で**繰り返し**やってみよう。
- ③ 大切なことは、**自分なりに**工夫してまとめておこう。

(3) 数学の学習で大切なこと

- ① **手を動かそう** 分からなくてもまずできることから手を動かす
- ② **はやく正しく**解けるように心がけよう。
- ③ 数字や文字は**ていねい**にはっきり書こう。
- ④ **なぜその答えが出たか**を理解しよう。
答えが一つでも解き方はたくさんあります。他にどんな解き方があるか考えてみよう。